別紙様式１２

博士論文の利益相反申告書

滋賀医科大学長　殿

学位申請者氏名：

所属・大学院学年あるいは職名：

論文名（著者，題名，掲載誌名，巻，頁，年）：

博士論文に関連して，開示すべき利益相反関係にある企業などを項目ごとに記載する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 該当の状況 | 有の場合，企業名などの記載 |
| ① 企業や営利を目的とした団体の役員，顧問職などの有無と報酬額  （１つの企業・団体から年間50万円以上のものを記載） | （本人）  有 ・ 無 |  |
| ② 株の保有と，その株式から得られる利益  （１つの企業の1年間の利益が50万円以上，あるいは当該株式の5％以上保有のものを記載） | （本人）  有 ・ 無 |  |
| ③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 | （本人）  有 ・ 無 |  |
| ④ 企業や営利を目的とした団体から，会議の出席（発表）に対し，研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料など  （１つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載） | （本人）  有 ・ 無 |  |
| ⑤ 企業や営利を目的とした団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料  （１つの企業・団体から年間合計50万円以上のものを記載） | （本人）  有 ・ 無 |  |
| ⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（委託受託研究，共同研究）など（注）  （１つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを記載） | （研究グループ）  有 ・ 無 |  |
| ⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄附金（奨励寄附金）などの有無（注）  （１つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを5年前までさかのぼって記載） | （研究グループ）  有 ・ 無 |  |

（注）⑥，⑦については，学位申請者個人だけでなく，学位申請者や共著者が所属する部局（講座，分野）あるいは研究室なども含め，研究成果の発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業や団体などからの研究経費，奨学寄附金などの提供があった場合に申告する必要がある。

以下の項目については，博士論文に関係なく，記載する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ⑧ 企業に所属している者あるいは営利を目的とした団体が提供する寄附講座に所属している者  （所属先の企業，寄附講座に所属している著者の名前と企業名を記載） | （著者全員）  有 ・ 無 |  |
| ⑨ 研究とは無関係な旅行，贈答品など  （１つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載） | （本人）  有 ・ 無 |  |

申告日　　　　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

所属（講座名・社会人入学者の場合は本務先の企業名も記載）

申告者署名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

責任著者署名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印